

在宅医療と介護に関する調査について

1 調査目的

医療と介護の関係機関が連携して在宅療養の体制を構築する取組を検討する際の基礎資料とするため、下記のとおり在宅医療と介護に関する調査を実施する。

なお、この調査は第6期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）の策定に反映させるため、高齢者基礎調査の一環として実施する。

2 調査対象

要介護3～5の訪問看護サービス利用者介護している方 500人

3 調査方法

郵送による発送・回収

4 調査期間

調査票発送 1月29日

回答期間 調査票到着日から2月13日まで

5 調査項目概要

(1) 基本事項

- 要介護者の年齢、住所、世帯構成、要介護度
- 介護者の続柄、年齢、住所、介護期間、健康状態

(2) 療養生活について

- 療養が必要になった原因、必要な医療処置、急変時の連絡先
- 在宅療養生活を送るうえで良かったこと、困っていること
- 受診形態・頻度、主治医の診療科目
- 在宅医療を希望する(しない)理由

(3) 退院支援と訪問診療（往診）を利用している医療機関について

- 退院支援の具体的な援助の有無と退院後の状況
(例：退院後の注意点についてわかりやすく説明してくれた)
- 退院支援の満足度
- 医療機関の見つけ方、終末期ケア・看取り・緩和ケアへの対応の有無

(4) 医療と介護の連携について

- 連携していると感じるか、連携していないと思う理由、連携するために中心となる職種

(5) 今後の療養生活について

- 在宅での療養生活を継続するために希望すること
- 療養生活を希望する場所
- 最期を迎えたい場所、自宅で最期を迎えたくない理由

(6) 介護の負担感について

- 介護の負担感の有無（例：介護で精神的にまいってしまう）
- 介護者自身が療養が必要になった時の療養の仕方の希望

(7) 在宅療養や医療と介護の連携についての自由意見